

2015/11/27 13:37

【別添様式2】 支持層到達状況調査の状況

82 件 該 当 番号	都道府県	市区町村	特定行政庁	物件名	用途	所有者等 又は デベロッパー	元請け工事施工者	データ流用等		支持層レベル(m)		12条5項の 報告期限	支持層到達状況調査 【電流計】			特定行政庁と しての支持層 到達状況の妥 当性の判断 (判断した日 付を記載)	
								全杭数	流用のあった杭数		最深値		最浅値	類型A~D	説明資料の受領 H27.11.26付け 事務連絡1.(2)参照 1:受領済み 2:未受領		左記の概要 (追加でボーリング調査等を実施する場 合は、そのスケジュールも記載)
									電流計	セメント ミルク							
1	東京都	千代田区	東京都	中央合同庁舎3号館	事務所			210	10	5	GL-16.0m	GL-14.5m	11月26日	B	1	設計段階のボーリング調査で支持層の起伏が大きかったため、杭施工前に全ての基礎フーチング毎にラムサウンディング調査を実施し、支持層深さを確認した上で、各支持層深さをもとに杭長を決定し、杭を製造・施工した。	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	

左側3欄への記載が終わり、調査結果が概ね妥当と判断できる段階になりましたら、本欄に日付を記載する前に、国交省まで連絡